川西小だより

笑顔で『　明るく　楽しく　元気よく　』

令和６年６月２８日
富田林市立川西小学校
TEL２４－３１０７
FAX２６－２３０６
★児童数配布

『　嬉しい言葉　』

校長　山下　文博

本校では、各学年学期に一回、『富田林おはなしの会』の方に来ていただき、お話や本の読み聞かせの時間を設けています。つい先日も高学年を対象に、２名の方にお越しいただきました。読み聞かせ終了後、校長室に戻ってこられた時、「今日、本当に素敵な子どもたちに出会わせてもらいました。ありがとうございます。聞く姿勢や態度、反応など本当に気持ちが良かったです。聞き手によって、私たちはすごく元気やパワーを貰えるんです。実は私、今日でこの活動を最後にしようと思っていたんです…。でも、この子たちに出会えたことで、頑張ってこれからも続けようかなという気持ちになりました。」とのお言葉をいただきました。学校からの依頼でお越しいただいているにも関わらず、逆にこのようなお言葉をいただいて、本校の子どもたちを誇りに思いました。

しかし一方で、少し残念な事象もあります。最近、川西小の子どもたち同士のやり取りの中で、気になる言葉が聞こえて来ることがあります。全校集会でも話しましたが、「自分が言われて嫌な言葉」というのは、他の人にとっても嫌な言葉ですね。でもその嫌な言葉って、本当に軽い気持ちでさらっと言っていることが多くないでしょうか。その反対で、「自分が言われて嬉しい言葉」というのは当然他の人にとっても言われて嬉しい言葉ですよね。全校集会で子どもたちから出た、言われて嬉しい言葉、それは『ありがとう』でした。でも普段の学校生活の中では、なかなか出てこないものです。感謝の気持ちはあるけれど、言葉としてはなかなか伝えられない人も多いのではないでしょうか。そこでみんなには『ありがとう』を意識して、きちんと伝えられるようにしてほしいことを伝えました。また、各担任の先生方にも、終わりの会や、翌日の朝の会などで、『ありがとう』を伝えられたことを確認してもらったり、その場面を紹介してもらうようにお願いしました。

『ありがとう』が増えてくると、自然と笑顔も増えていき、トラブルが少なくなり、川西小学校全体が暖かくて、気持ちのいい雰囲気に包まれていきますね。これは、学校内だけのことではなく、ご家庭にもあてはまります。日々の暮らしを当たり前だと思わずに、ご家族へも『ありがとう』を伝えていく、感謝の気持ちを持つ、そのことがとても大切だと思います。

子どもたちからの『ありがとう』、嬉しいですよね。同様に、ご家族からの『ありがとう』って、子どもたちにとっても、とても嬉しいものです。子どもたちへ、心からの『ありがとう』を送っていただければありがたいです。

来週から七月に入り、一学期も終盤を迎えます。実際に学校に登校するのは 14 日しかありません。一日一日を大切にして、充実した学校生活を過ごしてほしいと思います。暑い日が続きます、引き続き、十分な水分を持ってくるよう、ご配慮の程、よろしくお願いいたします。